

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所の理念を職員全員が周知し共有に努め、業務に反映している。			新入職員や異動になった職員も理念を周知し共有できるよう、MT 時に唱和し業務に反映できるように努めていく。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染予防のため地域の方と交流が出来なかったため今後はコロナ禍の中でも地域交流に向けた方法を工夫していきたい。	新型コロナウイルス流行により、地域とのコミュニケーションをとるのは難しい。その中でも施設での様子(行事やレクレーション、ごみ拾い等をしている様子)をペーパーを通してでも発信していく事で日々の生活状況がわかり、何かあった際は協力し合える関係性を継続していく事が出来るのではないか、又アプローチしていく事で関係性が途絶えることがないのではないと思う。		新型コロナウイルス感染防止のため地域との関わりを自粛していたが、行事やレクレーション等を地域の町会長や民生委員の関係性が途絶える事のないよう通信を通して発信し施設での様子を伝えたりし、協力し合える関係性を構築していけるように努めていく。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染予防のため中止する事が多かったため報告や話し合いができなかった。新型コロナウイルスの感染状況をみながら再開時期を検討していきたい。	新型コロナウイルスについて、感染力等わからなかった為、感染予防という対応は仕方がなかったと思う。命を守るのが最優先である。今後は、随時コロナウイルス感染状況を見ながらの開催でよいと思う。		新型コロナウイルスにより開催を断念せざるを得なかった。今後、命を守るという事を最優先とし開催できなかった時は文書にて報告行っていく。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	市町村や西部包括支援センターと連絡を密に取り、協力関係を築けるよう努めている。	地域の関係者との連絡を取りながら、事業所の実情等報告、意見交換を通してサービスの向上を目指す取り組みとなっていた。		今後も市町村や西部包括支援センターへ実情を報告しサービスの取り組みを伝えながら協力関係を築いていけるよう努める。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人全体での身体拘束をしないを宣言しており身体拘束廃止委員会や会議等で身体拘束をしないケアについて勉強し周知、実践している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束をしないケアについての取り組みを今後も継続し正しく理解し実践に繋げていく。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めて	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人の研修や事業所の会議や勉強会等で学ぶ機会を持ち全職員が理解し防止に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止関連法について全職員が研修や勉強会等で学び正しく理解し防止に繋げていく。

		いる					
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度を活用している方はいるが、新型コロナウイルス感染防止にて学ぶ機会を設けることができなかった。			日常生活自立支援事業や成年後見制度についてコロナ禍に於いてもオンライン等で学ぶ機会を設けるよう努める。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居や退居、改定になった際は家族に理解、納得してもらえるように都度説明している。			今後も入退居や改定の際は家族へ理解、納得してもらえるように十分な説明を行っていく。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時、広報誌に担当職員よりコメントと状態報告、都度意見や要望を出しやすい環境としている。利用者へは会話の中で意見や要望を聞きながら対応としている。又玄関に苦情箱を設置している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も細めに意向確認し利用者、家族の意見・要望をサービスに反映し苦情等話やすいようこちら側からも確認していけるよう努める。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止のため会議等開催できない事もあったが、代表者が自ら職員の意見を聞き業務に反映する事ができている。			会議を開催したときは管理者も出席し意見や要望を取り入れ反映する事ができているため今後も継続し職員の意見を反映できるよう努める。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課等で職員の努力や実績、勤務状況等把握し向上心を持って働けるよう職場環境や条件の整備に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も人事考課で職員個人の目標を面談にてフィードバックしやりがい等向上心を持って働けるよう努めていく。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止のため外部研修を受ける機会は少なかったが、内部研修は職員のケアの実際と力量に合わせた内容でリモートにて受けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部研修を受ける機会は少なかったが、今後はオンラインにて力量に合わせた研修を受ける機会を確保できるように努めていく。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	西部包括支援センターでの介護支援専門員の交流の場が企画されたが新型コロナウイルス感染防止のため中止となったが資料にて勉強する機会があった。			西部包括支援センターでのケアマネんず倶楽部等へ参加し情報交換しサービスの質の向上に取り組んでいけるよう努めていく。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	都度本人の立場に立って考え生活の場でお互い協力し助け合う事ができている。			利用者と職員が頼り、頼られる関係性を大切にしサービスの質の向上を図っていきたい。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時のアセスメントや家族から得た情報を活用したり、回想法にて本人から聞いた情報で馴染みの場所を把握しているが、新型コロナウイルス感染防止のため面会や外出の自粛にて支援に努める事ができなかった。	感染症により、面会や外出自粛となった場合であっても、電話や手紙などで関係性が途切れないよう支援していく事も可能だと考えられる。他施設のホームページを見ると、リモートや面会スペースを確保し面会されている。当施設もガラス越しの面会実施されているも、今後感染状況見ながらの面会制限を調整していくとよいと思う。		新型コロナウイルスが流行した場合であっても電話や手紙で関係性が途切れないよう支援できるように努め又面会も感染状況を見ながら緩和していけるよう工夫していく。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段から計画作成担当者や担当職員とマンツーマンで会話できる時間を設け、信頼関係の構築に努めている。又伝えることができない利用者は、表情等で思いを汲み取り支援している。			本人と計画作成担当者、職員が信頼関係を構築し希望や意向が聞かれた際は情報を共有し把握に努めていく。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	半年に1回、モニタリング、再アセスメントの実施、カンファレンスにて本人や家族の意向を元に職員や看護職員と話しあい作成している。	入居者の方の意思決定を促したり、思いを汲みながら本人を中心とした支援の継続に取り組む事が必要だと思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人へも意向確認、決定を促し本人を中心とし又必要な関係者と話し合いをし介護計画の作成に努める。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日、1日の様子や気付いた事やケアの実践と経過を個別記録に記入している。ユニット会議で職員間で情報を共有し介護計画の見直しに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアの実践や結果、工夫した事等は記録に記入し情報を共有し介護計画の見直しに活かしていきたい。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その時々生まれるニーズに対して新型コロナの感染状況を踏まえながら家族と本人が面会できる場所を設定し対応した。	家族状況やコロナウイルス感染状況にもより、柔軟に対応しているが、リモートでの面会など発信の仕方を工夫していかなければならないのではないか。		感染状況により、対面での面会やガラス越しでの面会に切り替えしその都度家族や利用者のニーズに合わせて対応していけるよう努める。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議で得た知識を活用したり、地域包括支援センター等にも相談したり権利擁護事業にも努めている。又本人や家族にも情報提供を行っている。	地域の社会資源の情報は、施設で把握するのは難しいと思われる為、地域にある機関、組織を通じて都度新しい情報を収集し、活用していければよいと思う。		地域包括支援センター等の機関や組織に相談し必要な情報を収集し活用していけるように努める。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に家族、本人より受診状況を確認し入居後も主治医へ受診できるよう支援している。又家族協力にて受診する際は状況を詳しく書いた手紙を渡し、医療機関、家族、ホームと情報が共有できるように努めている。			入居後も主治医へ受診できるようにしており、今後も医療機関、家族ホームと連絡を密にし情報を共有し適切な医療が受けれるよう努めていく。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者が入院した際は医師や家族、地域連携室や担当ケアマネとの連携を密にし情報の共有を行っている。退院時も連絡を取りながら支援を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者が入院した際は早期に退院できるよう地域連携室や担当ケアマネとの連絡を密にし情報を共有し関係作りに努めていく。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人の嘱託医や連携看護師による協力体制を整え、24時間の対応が可能である。契約時に重度化した場合や看取りの方針を説明している。希望や状況に応じ対応できる体制作りをしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化した場合や終末期のあり方について今後も入居の際や利用者の状況によって早めに本人・家族と話し合いをし事業所で、できることを十分に説明、方針を共有しサービスの提供に努めていきたい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事故等発生時すぐ対応できるよう定期的に訓練やシュミレーションを行い実践力を身につけている。緊急連絡体制の周知徹底に努めている。又ピノッ郷会議でも勉強会として行っている。併設の看護職員や法人の看護師との連携体制も整っている。			急変や事故発生時に備え定期的に訓練やシュミレーションを行いすぐ対応できるようにしている。新人の職員が入った際も対応できるよう勉強会等を行い把握し実践できるよう努めていきたい。

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	災害対策として火災や災害のシュミレーションを実施するほか年2回総合消防訓練を行い昼夜問わず全職員で避難方法を身につけている。又地域との協力体制も築いている。	近年の自然災害に対して、施設での対応が目されるようになってきている。その為、火災訓練だけでなく、風水害に対しても職員の役割分担や対応法を共有している。自家発電はないが、3日分の食事、水、防寒着、ランタン、ストーブ等常備している。水が止まった際は、貯水槽より使用する事が可能である。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	調理器具がIHのため停電すると使用できなくなる。そのためガスコンロか発電機を準備できれば良いと意見があった為検討が必要。又ホームページ上で家族が利用者の状況がわかるように対応してもらえれば安心という声もあった為今後検討していく事が必要。
----	------	---	---	--	--	---	--

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの人格を尊重し、相手の立場に立った対応、グレーゾーンに入るような態度等は会議等で注意を促している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりを尊重しその方に合った声掛けやプライバシーに配慮した対応を行い又プライバシーに関しての勉強会も継続し行っていく。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人が毎日暮らしてきたペースに沿って希望を尊重している。本人がやって来たことをホームでもできる限り提供できるよう支援している。			家で行ってきたことは継続して行えるよう希望や意向を確認し職員側の都合や決まりを優先せず、本人の暮らしを大切に過ごせるよう努めていく。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止のため現在は食事を利用者と別々に食べているが、メニューは同じものを食べている。行事や誕生会は利用者の希望に沿ったものを栄養士へ報告し献立を立ててもらっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	これからも食事を楽しめるよう希望に沿いながら行事を継続し、新型コロナウイルスが落ち着くまでは感染防止に努めていく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人の栄養士がバランスを考え献立表を作っている。又水分量を毎回、記録し把握水分不足気味の方へは細めに水分摂取できるよう提供している。			水分をあまり摂取しすぎない方には好みの飲み物を提供し水分量が確保できるよう努め記録も継続し水分確保の把握に努めていく。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	口腔衛生管理加算を算定するにあたって口腔ケアの必要性を職員で理解、毎食後の口腔ケアの介助や声掛けを行っている。義歯等の不具合があれば歯医者へ連絡、往診や治療、ケアのアドバイスを頂いている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	これからも歯科医のアドバイスを受けながら食後、一人ひとりの口腔内の状況や力量に応じたケアの継続を行っていく。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの排せつリズムを把握、記録し毎日の健康チェックを行っている。夜間、排せつが頻回な方はポータブルトイレを使用し精神安定に繋げ、本人の排せつパターンに合わせ支援している。又、おむつ外しにも積極的に取り組み家族の経済的負担の軽減を図っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの排せつを記録し、ユニット会議に於いて検討し本人の排せつパターンに合わせ支援していく。おむつ外しに関しても排せつの自立を促しトイレ誘導等行い取り組んでいく。又便秘の予防等個々の好みの飲み物等提供し水分量の確保に努めていきたい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	随時、希望に添った対応をし週に2回、定期入浴を実施としており希望の順番や時間に合わせ入浴できるよう工夫し支援している。			希望に沿った曜日や入浴の順番一人ひとりのタイミングに合わせて支援していきたい。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	夜間、眠れない方には日中活動に参加して過ごせるよう支援したり、疲労感が強いときは休息してもらい本人の夜間の安眠に影響が出ないよう本人へ合わせ対応している。			時々状況に応じて無理のないよう休息の声掛けをしたり安心して安眠できるよう支援していく。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの内服を管理し薬局からの医薬情報をもとに用法や用量を確認し理解している。内服の変更時は様子観察しながら変化の確認に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内服が変更になった際は調剤薬局の方に説明を受け、又医薬情報をもとに確認し服薬支援を行っていく。又内服が変更になった際はしっかりと申し送りを行い様子観察し変化の確認を行っていく。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活歴を把握し役割や楽しみごと等気分転換の支援をしたが、新型コロナ感染防止にて他者との交流も減り気分転換等の支援ができなかった部分もあった。	入居者の生活習慣や生活歴を尊重し、対応している。入居者の方が得意とする事を支援し、状況を見ながら張り合いのある生活を維持していけるよう取り組む必要がある。		コロナの中でも気分転換が図れるよう感染防止対策に努めながら生活習慣や生活歴を把握してできる事を継続して行えるよう支援していく。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウィルス感染防止のため、外出を控えたが、代替として、室内での行事の充実を図った。	コロナ禍で行動制限等多くある中でも、状況を見ながらの対応が図られている。随時状況判断し、入居者の生活の日常性を確保できるよう、取り組む必要がある。その時々(季節)に合ったものを紹介したり写真、映像を流したりするのも良いと思う。		コロナの中でも状況を判断し出掛けられるよう対応に努めていきたい。又蔓延している時は無理に外出をせず、季節に合ったものを紹介したり写真や映像にて屋外を感じてもらえるよう工夫し取り組んでいきたい。

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止のため買い物等の外出はできなかったが、館内でお金を使う行事を実施し金銭感覚を養い、選んで楽しめるよう支援している。			本人はお金を持つことの大切さを十分に理解はしており、持っていないことによって不安となる方もいるため実物を見せて納得してもらったり今後、外出した際は所持し使えるよう支援していく。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があればその都度対応とし手紙の返事も本人が書けなくても職員が代筆しやり取りをし支援している。又書ける方は自分で、書けない方は職員が代筆し年賀状を出している。			今後も希望があれば手紙を書いたり電話を使用できるよう支援していく。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室は利用者のプライベートを守るため扉の開閉には気を付け不快のないように配慮している。月毎にリビング壁に行事の日程や季節の装飾をし季節感を採り入れている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体機能やわかる力を活かすためトイレの目印をつけたり居室がわかるよう本人の好きな絵を描いたのを目印として貼ったりし支援し、共用の空間は季節に応じた飾り付けや清掃に努め居心地良く暮らせるよう支援していく。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や利用者の意見を聞きより住みやすい環境となるよう支援している。			今後も家族や本人へ思いや願いを聞き意向に沿った暮らしができるよう取り組んでいく。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の生活歴、暮らしの習慣や友人関係等情報をもとにサービス提供に努めている。			友人関係はディサービスに来た際面会できるよう配慮したり、暮らしの習慣や様々な特徴を家族や本人へ確認し情報収集に努め支援を受けられるよう努めていく。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居後も主治医へ通院できるよう支援している。安全・環境については状態により、事故発生をどのように防ぐか話し合いを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面、医療面に関しては看護職員や主治医と連絡を密にし支援、環境面や安全面は本人の状態等細めに観察、把握し職員同士で情報を共有し事故発生防止に取り組んでいく。

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に家族や本人からどのように暮らしていたか情報収集し、できるだけ自宅で暮らしていた時と同じように暮らせるよう支援している。孤立防止や誤嚥防止のため食事は3食同じ時間に提供している。			できるだけ自宅にいた時と同じように暮らすことができるよう入居の段階で家族、本人へどのように暮らしていたか情報収集し自分のペースで暮らすことができるよう支援していく。
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前に使用していた物を持参して頂き、今までの生活に近づける事ができるように工夫し支援している。位牌等置いたり、家族写真を飾り対応としている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に馴染みのものや大切なものをもつことができる事を説明し自宅で暮らしていた時と変わらない環境で暮らせるよう支援していく。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止のため外出を控えていたため実現できなかったため、室内での行事の充実を図った。	感染を防止する為には、外出を減らさざるを得ないが、外出の代替えになる事も考えマンネリ化防止に努める必要がある。又、生活の質の確保する為にも、内容の工夫が必要だと思う。		新型コロナウイルスにより外出も減り利用者も退屈していると思われる。マンネリ化防止として行事の内容を見直しコロナの中でも状況を判断し、しっかりと感染対策を行える事は実施し生活の質を確保できるよう取り組んでいきたい。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれに役割があり、洗濯干しや洗濯たたみ、テーブル拭き等の手伝い、又活動ではパズルや塗り絵、計算等行いながらできないところは助け合いながら、暮らしている。			本人に合わせた役割や楽しみ事が継続してできるよう支援していく。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	午前は新聞読み、体操、機能訓練を全員で行い、個別の活動を行っている。午後は、皆で感染対策しながら皆でできるゲームやカラオケを行いコミュニケーションを図れるよう支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の新聞読みや回想法では一人ひとりがいきいきと会話を見られている。又感染対策を行い、カラオケやレクレーションに参加促し活動場面を暮らしの中で得ることが出来るよう努めていく。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止のため外出を控えていたため地域の人々との関わりがあまりできなかった。	外出等の自粛生活が長期化する事で、交流が途絶えてしまわないよう、代わりとなる交流を探ると共に、情報発信していく必要がある。		ディサービスに近隣の住民や地域の人々が利用していることもあるため感染状況を見ながら交流し関係性が途絶えてしまわないよう努め、地域に出かけられるよう検討していく。又通信を通し地域へ情報発信できるよう検討していく。

49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止のため地域の人々との交流はないが、職員との良好な関係性を築き親しみ、安心して生活を送ることができている。認知症がありながらも言葉や表情で汲み取ることで満足しているのが伺える。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症流行により、出来なかった事が多かったと思うが、ここだけではない。感染症が落ち着いてからでも再開出来たらよいと思う。リモートを使いながらも地域又、県外との交流するのも入居者の方も気分転換になり良いと思う。</p>	<p><input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止にて地域との交流がなかった事を踏まえ今後は地域又県外の情報を収集しリモート等で伝え気分転換を図ってもらい変わらない親しみある生活と安心できる生活を送れるよう努めていく。</p>
----	----	---	--	---	--	--	--